

令和元年第5回狭山市定例教育委員会会議会議録

開催日時 令和元年5月28日(火)
午後1時30分から午後3時5分まで

開催場所 市役所 5階 教育委員会室

出席者 教 育 長 向 野 康 雄
教育長職務代理者 吉 川 明 彦
委 員 橋 本 秀 樹
委 員 宮 崎 英 子
委 員 後 藤 邦 江

欠席者 な し

委員及び傍聴人を除くほか、議場に出席した者の氏名

生涯学習部長	滝 嶋 正 司	次長兼教育総務課長	内 藤 光 重
社会教育課長	田 中 肇 夫	中央公民館長	横 瀬 康 裕
中央図書館長	小 池 真 介	スポーツ振興課長	五十嵐 和 也
学校教育部長	和 田 雅 士	参事兼教育指導課長	伊 藤 秀 一
教育センター所長	稲 葉 正	書 記	堀 川 清 美

会議の公開・非公開 議案第22号、議案第23号については、個人に関する情報が含まれ、また、公にすることにより、意思決定の中立が損なわれるおそれがあることから、非公開とした。

傍聴者数 0名

報告事項

- 平成31年度博物館春期企画展の開催結果について

報告者(社会教育課長)

(要旨)

平成31年3月9日(土)から令和元年5月12日(日)までの55日間開催し、延べ11,319人、1日平均約206人と、前企画展の約2.8倍の入館者があった。写真家・岩合光昭氏の作品128点を展示し、同じネコ科のイエネコとライオンの仕草や生態を視覚的に比較することにより、生物の進化と分類について学ぶ企画であった。来館者が自宅のネコ写真を持ち寄り飾る「我が家のネコちゃん写真展」を同時展示し、また、期間中には、企画展にちなんだ工作教室「春のまいまい体験講座」を開催した。アンケートの集計結果では、回答者の92%か

ら「とても良い」「よい」との回答を頂いた旨の報告がなされた。

教育委員からの質疑等では、テレビ番組でも岩合氏のネコに関わる企画を取り上げており、番組を見て遠方から来られた方もいたとのことで、タイムリーなよい企画であった旨の意見がなされた。

・博物館の臨時休館について

報告者（社会教育課長）

（要旨）

5月28日（火）から30日（木）までの3日間、館内の燻蒸作業（殺虫消毒）及び館内整理のため臨時休館する旨の報告がなされた。

・入間川七夕まつりの開催に伴う中央図書館の夜間開館の中止について

報告者（中央図書館長）

（要旨）

七夕まつりの行われる8月3日（土）については、施設管理の都合上夜間開館を中止する旨の報告がなされた。

・令和元年度公費による英語検定受験について

報告者（教育センター所長）

（要旨）

「中学卒業時に英検3級以上取得」を目指して学習に取り組ませるものであり、文部科学省が目指しているレベルでもある。英語に対する学習意欲並びに英語学力の向上、より客観的な成果指標としての活用、個別成績表等の各校の英語教育への活用、高等学校入試優遇校多数により、調査書への記載が可能であることからこの事業を実施している。対象は狭山市中学3年生全員、受験級は2級～5級のいずれか一つ、検定料については、年1回分を公費で負担する。会場は、一次試験のみ所属の各中学校で実施する旨の報告がなされた。

教育委員からの質疑等では、学校ごとの合格率を比較してランク付けをするものではないとのことであるが、内部では共通認識を図るのかとの質疑に、資料として活用したい旨の答弁がなされた。また、教育委員からは、的確に分析し次年度につなげるものであり、公費を使用することからも、内部での検討を十分行うよう意見がなされた。

・令和元年度狭山市小・中学生英語サマーキャンプについて

報告者（教育センター所長）

（要旨）

7月22日（月）から7月24日（水）までの2泊3日で、入間市青少年活動センターにおいて実施する。対象は、市内小学6年生・中学1年生（各校1名程度）で、23名程度を予定し、参加費用は一人5,000円である。内容は、日常英会話のレッスン、課題学習、グループ学習等で、オールイングリッシュによるグループ活動である旨の報告がなされた。

・平成30年度学校施設整備実施状況について

報告者（教育総務課長）

（要旨）

平成30年度は、平成3年に設置し老朽化が進んでいた柏原小学校北校舎の空調設備の改修工事を実施した。また、教育環境の充実、維持管理のため、施設や設備の改修などを実施し、主なものは、入間川東小学校、水富小学校、山王小学校、及び奥富小学校の4校の児童用トイレ改修を行った。諸工事は、小中学校合わせて年間92件の改修工事を実施した。その他の事業として、令和2年度末までに策定する学校施設の長寿命化計画について、業務委託を活用しながら、まずは、基礎資料となる各施設の劣化度や工事の履歴などの整理を行った旨の報告がなされた。

・平成30年度社会教育関連事業実施状況について

報告者（社会教育課長）

（要旨）

学校支援ボランティアセンターについては、支援者実数が309人、支援時間数が9,213時間と、前年度より増加した。地域子ども教室推進事業については、教室数が12か所と前年度より3教室の減となったが、これは、公民館事業及びPTA事業に移行したものが各1、活動休止した教室が1教室であった。富士見集会所講座等運営事業については、平成29年度に耐震改修工事等に伴い7か月間休館したので、平成30年度は、主催事業、貸館業務とも、数値が大幅に増加したが、平成28年度と比較すると9割程度であった。このほか、前年度数値を下回った事業については、教育委員会事務事業点検評価において、その要因を検証したい旨の報告がなされた。

・平成30年度博物館入館者数について

報告者（社会教育課長）

（要旨）

入館者数については、合計55,692人と、平成29年度と比べ20,400人、約58%増加した。その要因は、企画展が、各回とも好評であったことによる旨の報告がなされた。

・平成30年度公民館主催事業及び利用状況について

報告者（中央公民館長）

（要旨）

主催事業は、事業件数430件、延べ開催回数2,290回、延べ参加者数140,698人であり、平成29年度に比べ、事業件数は15件、延べ開催回数は180回の増となったが、延べ参加者数は2,499人の減となった。延べ参加者数が大幅に減った要因は、雨天のため中止としたイベント事業があったことによるものと捉えている。利用状況は、合計件数51,329件、合計人数596,340人であり、平成

29年度に比べ、件数は30件の減、人数は9,246人の減となっている。これは、各公民館による違いはあるが、総じて高齢化により利用サークルの会員数が徐々に減少してきていることが影響していると捉えている旨の報告がなされた。

・平成30年度図書館利用状況について

報告者（中央図書館長）

（要旨）

利用者数については、中央、狭山台、移動図書館合わせて、合計270,583人であり、平成29年度に比べ10,913人の減となった。貸出数については、合計875,932点で、20,360点の減、主要相談業務のレファレンスは10,759件で、857件の減、予約・リクエストは、66,407件で、869件の減であった。これらの減少の要因については、主に、昨年12月に実施した図書館蔵書貸出検索システム更新時の臨時休館に伴う影響と捉えている旨の報告がなされた。

・平成30年度社会体育関連事業実施状況について

報告者（スポーツ振興課長）

（要旨）

スポーツ教室については、16種目17教室を開催し、延べ971人の参加があった。平成29年度との比較では、実参加人数は54人の増であったが、延べ参加人数は89人の減となった。主な要因は、ここ数年、リピーターの参加者が多い傾向にあった初心者水泳教室の実施を見送ったことによるものと考えている。日本体育大学との体育・スポーツに関する協定に基づく事業では、同大学駅伝部の監督を講師に招き、市内中学校陸上部を対象に陸上教室を開催した。また、バレーボールVリーグ1部に属するジェイテクトスティングスの選手を講師に招き、市内中学校女子バレーボール部を対象にバレーボール教室を開催した。今年度も、引き続き、主に中学校の部活動の生徒を対象に可能な教室を検討したい。市民総合体育館は、利用人数259,964人、一日平均約776人であった。市民総合体育館については、昨年度、スポーツ振興くじ助成金を活用し、アリーナ床の全面張替え工事を実施し、1月から3月までの3ヶ月間利用を休止したが、個人利用者数は増えており、その主な要因は、工事期間中もトレーニングルームの利用は継続しており、その利用が例年より多かったと考えている旨の報告がなされた。

・平成30年度市内公立中学校卒業者の進路状況の概要について

報告者（教育指導課長）

（要旨）

高等学校等進学者では、高等学校本科の全日制県内は、国立8名、公立697名、私立277名で83.4%、県外は、公立4名、私立84名の計88名で7.5%、定時制は県内公立のみで56名4.8%であり、通信制は、県内私立2名で0.2%、県外私立26名で2.2%である。特別支援学校は県内公立のみで13名で1.1%、

その他の進学では、専修学校高等課程は4名で0.3%、その他海外進学者1名、家事手伝い2名、進路未定者3名で0.5%であり、進路未定者については、今後も学校において定期的に連絡をとり相談に応じる予定である旨の報告がなされた。

・平成30年度教育指導事業について

報告者（教育指導課長）

（要旨）

指導主事による学校訪問及びフォローアップ訪問を行った。介助員の配置については、対象児童・生徒は増えているが、介助員がそれに追いつかない状況である。また、働き方改革の支援として、教員の平均在校時間の長い小・中学校各1校に、スクール・サポート・スタッフを配置し、勤務時間の短縮を図った。また、中学校6校に部活動支援員を配置し、大会などの引率を教員に代わって行ってもらった。さらに、全小中学校にメッセージ電話機能を導入し、原則として小学校は午後6時以降、中学校は午後7時以降の電話はすべてメッセージ電話に切り替え、現場では好評であり、この対応について保護者等からの苦情等もない旨の報告がなされた。

・平成30年度教育センター利用状況について

報告者（教育センター所長）

（要旨）

教育センター利用者は、全体で11,634人であり、内訳は、教育委員会利用人数が6,200人、研究会利用人数が3,484人である。平成29年度に比べ、約1,000人減少したが、これは、大研修室のエアコン故障により夏の会議・研修等での利用ができなかったことが一因と思われる。教育相談数1,755件は、やや増加の傾向にあり、相談内容の内訳は、不登校1,326件で76.5%、性格・行動について333件で19%、学業・進路について90件で5.1%、その他6件で0.3%である旨の報告がなされた。

・平成30年度教育センター主催研修等の概要について

報告者（教育センター所長）

（要旨）

I C T活用授業研修会の参加者数が平成29年度に比べ、300人以上増えているが、これは、校務支援システムにより通知表を電子化することに伴う研修を増やしたことによるものである。児童生徒体験講座のうち、英語体験教室「ハッピー ハロウィン」は、新規事業であり、183名の参加があった。A L Tとの会話を通して、言語や文化について体験的に理解を深めるとともに、コミュニケーションを通して英語の楽しさを味わわせることをねらいとして実施した旨の報告がなされた。

- ・各種審議会等の会議結果概要について

報告者（社会教育課長）

（要旨）

令和元年度第1回狭山市文化財保護審議会の開催結果について、その概要の報告がなされた。

- ・狭山市教育委員会後援名義の使用行事について

報告者（教育指導課長）

（要旨）

教育指導課関係1件の申請があり、審査の結果、使用許可を行った旨の報告がなされた。

議 案

議案第21号 令和元年度狭山市一般会計補正予算（第2号）－教育費

令和元年度狭山市一般会計補正予算（教育費）に関する議案を令和元年第2回狭山市議会定例会に提出するため、提案がなされたものである。

議案第21号については、原案可決した。

議案第22号 狭山市立入間川小学校学校運営協議会委員の任命について

狭山市立入間川小学校学校運営協議会委員を新たに任命するため、提案がなされたものである。

議案第22号については、原案可決した。

議案第23号 狭山市立入間川中学校学校運営協議会委員の任命について

狭山市立入間川中学校学校運営協議会委員を新たに任命するため、提案がなされたものである。

議案第23号については、原案可決した。

以 上